18市町村がひとめでわかる

北海道オホーツク移住応援ガイド

1市町村1ページで移住支援や生活情報を紹介

聞いてみましょう！センパイ移住者の声

ロッジ経営／新規就農／チーズ工房／ハンティングガイド

オホーツクAI推進協議会発行

遠軽町・太陽の丘えんがる公園

大空町・美しい東藻琴芝桜公園

美幌町・パノラマの絶景、美幌峠

網走市・北国ならではの「流氷」

湧別町・満開のチューリップ公園

小清水町・観光名所の小清水原生花園

発行元／オホーツクAI推進協議会

http://www.okhotsk.pref.hokkaido.lg.jp/

発行年／2015年12月

問い合わせ／事務局　北海道オホーツク総合振興局地域政策部地域政策課

TEL 0152-41-0620

北の大地への移住情報

「北海道暮らし　ここからはじまる「次の自分探し」のたび」

http://www.pref.hokkaido.lg.jp/ss/ckk/uiturn/iju-soku.htm

北海道移住のポータルサイト

「北海道で暮らそう！」

http://www.kuraso-hokkaido.jp/

オホーツク地域は、
漁業・農業が盛んな食料供給エリア。
世界が注目するオホーツク観光のほか、
地域資源を活かした産業づくりも進んでいます。

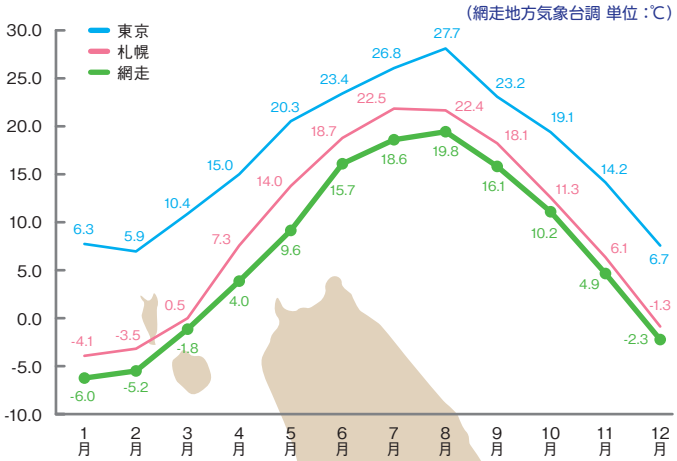
オホーツク海岸沿いに広がる 3市14町1村

オホーツク地域（オホーツク総合振興局管内）は
北海道の北東部にあり、
オホーツク海と 280km におよぶ海岸線で接しています。
総面積は 10,691 ㎢、岐阜県を上回る広さに
約 31 万人が暮らしています。

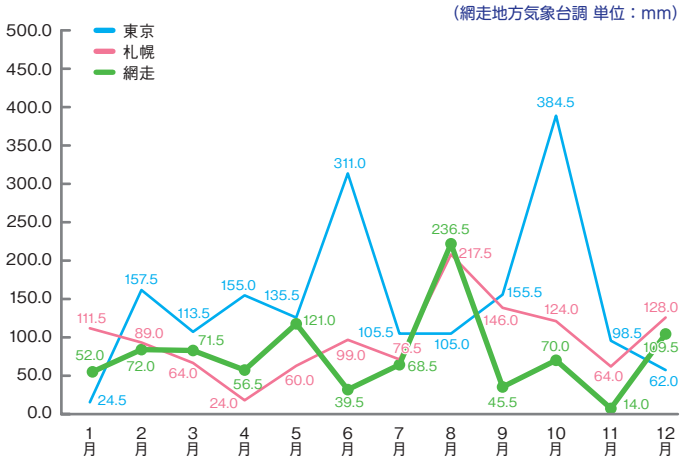
穏やかな気候と、原始的な自然景観が共存

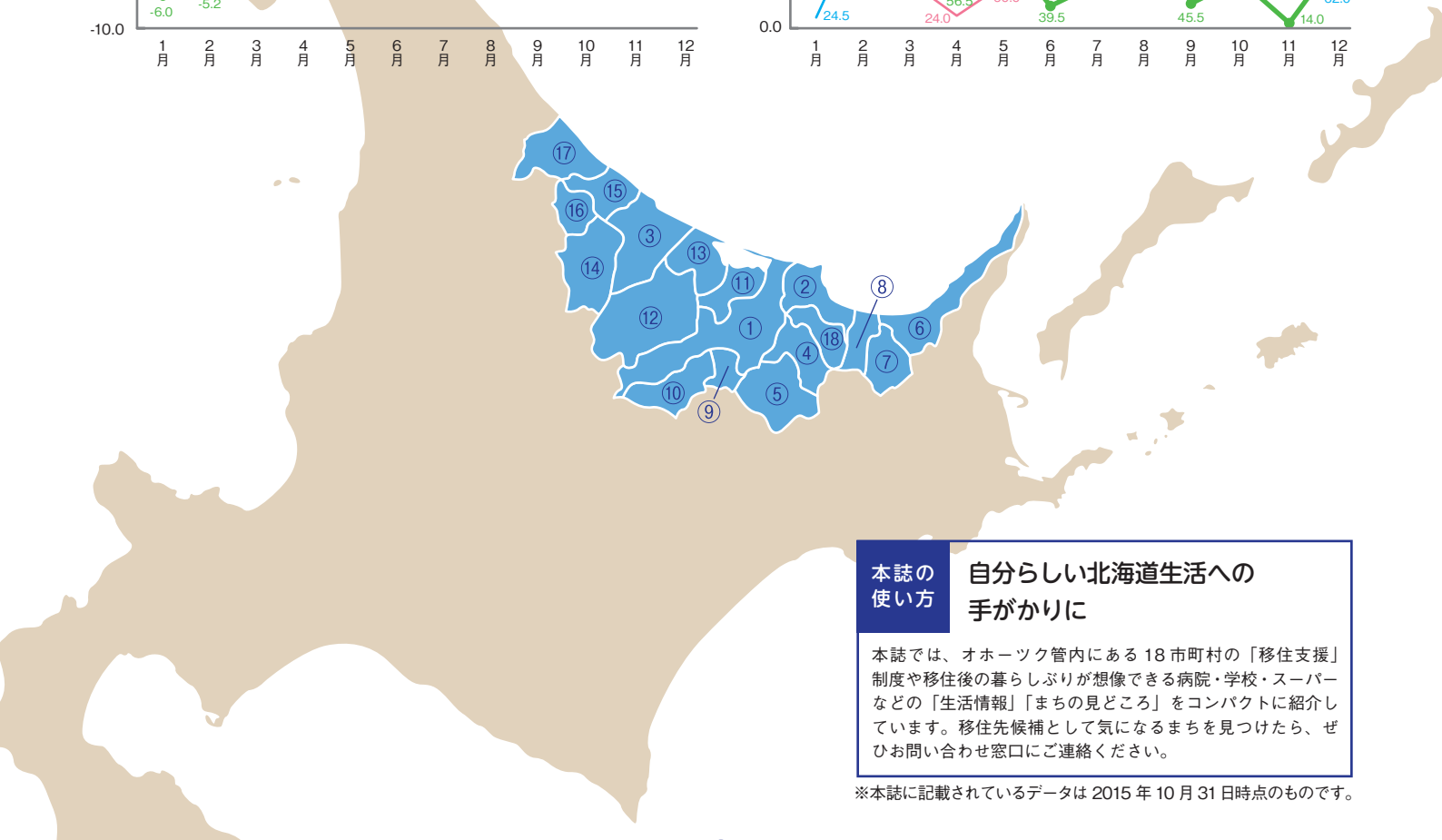
年間平均降水量は 800mm 前後と少なく、
日照時間にも恵まれています。
原始的な自然がそのまま残されている
知床国立公園など豊かな自然景観に恵まれ、
1 月下旬から 3 月にかけてオホーツク海に
「流氷」が接岸します。

月別平均気温（平成 26 年）



月別降水量（平成 26 年）





本誌の使い方

自分らしい北海道生活への手がかりに

本誌では、オホーツク管内にある 18 市町村の「移住支援」制度や移住後の暮らしぶりが想像できる病院・学校・スーパーなどの「生活情報」「まちの見どころ」をコンパクトに紹介しています。移住先候補として気になるまちを見つけたら、ぜひお問い合わせ窓口にご連絡ください。

※本誌に記載されているデータは 2015 年 10 月 31 日時点のものです。

①北 見 市　ソウルフードはおいしい焼肉！

②網 走 市　夏過ごしやすい快適＆安心暮らし

③紋 別 市　漁業を中心とした一次産業の港

④美 幌 町　おいしい野菜とのびのび子育て

⑤津 別 町　芸術家と職人が町の魅力を発信！

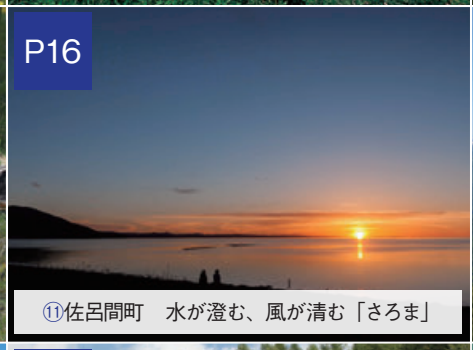
⑥斜 里 町　世界自然遺産「知床」のまち

⑦清 里 町　斜里岳の麓に広がる田園風景

⑧小清水町　ようこそ、小清水原生花園へ

⑨訓子府町　子育て世代をしっかり応援

⑩置 戸 町「人間ばん馬」と「オケクラフト」



⑪佐呂間町　水が澄む、風が清む「さろま」

⑫遠 軽 町　自然と文化の融合「ジオパーク」

⑬湧 別 町　チューリップと新鮮な海の幸

⑭滝 上 町　ピンク色の芝桜が美しい「童話村」

⑮興 部 町　チーズ工房が元気な牛のまち

⑯西興部村　「夢」施設を拠点にした村づくり

⑰雄 武 町　毛ガニ、鮭の「雄武ブランド」

⑱大 空 町　女満別空港から車で４分の利便性

聞いてみましょう！

センパイ移住者の声

北海道で「自分らしく暮らしたい」という夢を叶えた
センパイ移住者の皆さんがいます。
彼らが求めた答えは、オホーツクの地にありました。
ロッジ経営、新規就農、チーズ工房、ハンティングガイドの
4組が語る移住応援メッセージ。

家も信用も一からセルフビルドの大先輩
宿泊施設経営＆アウトドアガイド

埼玉県さいたま市から清里町（P12）へ

ロッジ風景画 オーナー　山下 健吾さん

ロッジ風景画　http://www.fuukeiga.net/

最初の一歩は
「移住して何をやりたいか」の自問から

ロッジの居間から見える知床半島やオホーツク海、目の前の斜里岳。自分にとっての理想であるここからの風景を皆さんに伝えたくて清里町に越してきたのが2001 年のことです。建物もなんとかセルフビルドし、地元の方々との関係づくりも一からの勉強でした。いまになって振り返れば、自分の言葉不足だったところや逆にこちらの人は自分の気持ちを言葉で伝えるのが得意でない、という道産子気質、それに代々地元で暮らす方々にとって土地や水を守ることがいかに大切であるかという“地元の事情”が理解できます。この事情がわかっていないと互いに平行線のままで、せっかくの田舎暮らしの楽しみが半減してしまいます。

いまは自分のこうした経験がお役に立てたらと思い、移住を考えている方々の相談に乗りながら、ラジオやサイトでリアルな移住事情を発信しています。まず移住への第一歩は、「自分が移住先で何をやりたいのか」をとことん自問するところからだと思います。「自分は移住先で何ができるか」ではなく、「何をやりたいか」を考えたほうが人生楽しくなりますので。そして気になる町が見つかったら移住した先輩たちに、特に失敗談を聞いてみてください。とても学ぶことが多いですし楽しいと思います。

元システムエンジニアの同僚コンビで
「農家の嫁」ではない新規就農６年目

大阪府大阪市から美幌町（P9）へ

ぼちぼち農場　荒木 千夏さん・川野 美香さん

ぼちぼち農場では管内初の「塩トマト」を生産中。

体験で感触をつかみ、
「やればできる！」を有言実行

私、荒木と川野さんはシステム開発会社の元同僚です。一緒に北海道旅行をして大自然と野菜のおいしさに感動し、新規就農に関心を持つようになりました。ところが大阪で開かれた農業フェアに行ったら、どの窓口でも「“嫁”じゃなくて新規就農？女性は相当大変ですよ」と言われ、俄然やる気に火がつきました（笑）。2005 年から体験実習に参加して「やっていけそう」という手応えをつかみ、次に支援体制が手厚いと聞いた美幌みらい農業センターを訪ねたときのことです。以前大阪のフェアで会った方が出てきて「きみたちのこと、覚えてるよ！」と驚きの再会になり、「体験実習もしたということは本当に本気なんだな。よし、頑張れ」と応援してくださって、研修生になる道を開いてくれました。

その後、町内の野菜出荷グループ「香土鮮緑」の代表の方のもとで本格的な野菜づくりを教わり、2009 年に「ぼちぼち農場」を開業しました。気負わずに私たちらしくやっていこう、という思いをこめた名前です。女性の新規就農、大丈夫ですよ。やればできます。あと、移住前に仮住まいをしてみるのもおすすめです。まちの雰囲気や「水を落とす」など冬の暮らしを実感できます。

北海道、東京、フランスで自分を磨き 初志貫徹で「本物」を作るチーズ屋に

東京都から滝上町（P19）へ

「月のチーズ」のフロマージュブランは全国で大人気！

月のチーズ　代表取締役　月村 良崇さん

移住の二本柱は、自営の算段と人とのつながり

小学生の頃、滝上町でやっていたサマーキャンプ（現「森の子どもの村」）に参加して以来、このまちは第二の故郷のようなもの。キャンプで仲良くなった幼なじみや、押しかけで農業体験をさせてもらった酪農家さんたちに今も助けてもらっています。「チーズ工房をやる」と20代で決めてからは、フランスに行って本場の味に感動し、世界中のチーズを知りたくてチーズ輸入会社に応募。面接で「ここで勉強してチーズ屋になりたいです」と言ったのが面白がられたようで採用になり、自分の舌を鍛えながら作りたい商品イメージを固めていきました。

移住は2007年から。月8000個のフレッシュチーズを生産しています。小学生の息子が2人いるので地元に耳鼻科や眼科の専門病院がないのはちょっと不便ですが、車で通える旭川に大きい病院があるので安心です。僕の移住はすでに地元とのつながりがあり、自営の算段もはっきりしていたのであまり皆さんの参考にならないかもしれませんが、ひとつだけ言えることは、人とのつながりは早めに作っておいた方がいい。“来たらなんとかなる”の発想よりも“なんとかしてから来る”方がソフトランディングになると思いますよ。

職場はエゾシカ管理猟区 フィールド調査と新人ハンターを育成

神奈川県横浜市から西興部村（P21）へ

西興部村猟区管理協会
http://www.vill.nishiokoppe.hokkaido.jp/Villager/Ryouku/

NPO法人西興部村猟区管理協会 事務局長　伊吾田 順平さん

妻はクラフトづくり、命に囲まれた子育て環境

2004年7月、西興部村全域が「猟区」に認定されました。兄が猟区プロジェクトに関わっていた縁で今の仕事に就き、農業被害や交通事故の原因になっているエゾシカの適正な個体数管理やハンター教育のかたわら、持続可能な地域資源としてエゾシカとどう共存していくかを考えています。生業はハンティングガイドです。道内外のお客様をご案内しています。

アウトドア好きな妻も北海道に来てから狩猟免許を取り、鹿革を使ったクラフトサークルを立ち上げて楽しく活動しているようです。こっちで生まれた娘はいま6歳。新鮮な鹿肉を食べて、元気に野山を走り回っている道産子です。僕のそばでハンティングの現場に立ち会うこともありますし、西興部の豊かな自然に囲まれて“命”に近い環境で子育てできるのは、家族全員にとって幸せなこと。こっちの冬は想像以上で、雪道で車を脱輪させたこともありますが、それは誰もが通る洗礼のようなもの（笑）。周囲には、僕の“山の師匠”をはじめ楽しみ上手な人が多く、春は山菜採り、夏は釣り、秋はキノコ狩りで冬はスノーモービル…と一年中楽しいことを考えています。次の夢はログハウス。自然の中で暮らし働く毎日が充実しています。